



## ■ 売上概況（2019年4月-2020年3月）

### 2020年4月度

#### 概況

#### ワコール（国内）の売上概況 2020年4月度

##### ・卸売事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出以降、4月8日に対象エリアの販売員の自宅待機を決定。また、対象地域が全国に拡大した18日以降は、すべての販売員の自宅待機としました。4月30日時点では、ほぼすべての店舗が休業となっていますが（一部量販店のみ営業）、これらの影響によって、実店舗チャネルで売り上げは大きく減少しました。

なお、ワコールブランド、ウイングブランドで展開する就寝時専用のブラジャー（「ナイトアップブラ」など）や、ノンワイヤーブラ『GOCOCi（ゴコチ）』については、巣ごもり需要の拡大によって、ECチャネルにおいて、比較的好調に推移しています。

4月単月の店頭ベースの販売実績は、百貨店13%、量販店のワコールブランドは29%、量販店のウイングブランドは33%、下着専門店は28%です。なお、卸売事業の売上高（納品）は、前年同月比で28%（72%減少）でした。

##### ・小売事業（直営店）

小売事業の売上高は、感染症拡大の影響に伴って、4月18日以降が全店（「アンフィ」「ファクトリースタア」など約150店舗）休業となったことが影響し、前年同月比で12%（88%減少）となりました。直営店ブランド（「アンフィ」など）の自社EC売上については、PUSHマーケティングを活用した「送料無料クーポン」・「ブラジェニック総選挙」などが奏功し、25～29歳の顧客が増加したことによって、前年比246%となっています。

「アンフィ」ショップ（既存店 11%、新店込 11%）

「ファクトリースタア」(既存店 6%、新店込 6%)

##### ・自社EC

実店舗休業に伴い、ECへの訪問者が増加、購入率も上昇したことから、自社ECの売上は前年同月比で122%となりました。外出自粛、在宅勤務の増加の影響から、「ノンワイヤーブラジャー」や「寝るとき用のブラジャー」が好調に推移。「パジャマ」や「ルームウェア」のほか、スポーツブラジャーや「マタニティ」商材の需要も高まっています。

以上の結果、ワコールの売上高は、前年同月比28%（72%の減少）となりました。

#### ピーチ・ジョン（国内）売上概況 2020年4月度

ピーチ・ジョン国内事業の売上高は、前年同月比81%となりました。感染症拡大の影響によってすべての直営店が臨時休業となりましたが、LINEスタンプのプロモーション施策効果などによって新規訪問者数が増加したことにより、自社ECの売上増加が貢献しました。

なお、海外事業（店舗の状況）は、以下の通りです。

上海PJ：68% 感染症拡大から徐々にも戻りつつある。プロパー販売が回復傾向も、売上は7割程度にとどまる

PJ香港：41% 感染症拡大影響によって、店舗訪問者数が減少

台湾PJ：61% 感染症拡大影響によって、店舗訪問者数が減少

<参考>ワコール（海外）主要法人 ※前年比は現地通貨ベース

**米国**

・チャンネル別(Wacoal+B.tempt'd)

	4月 単月	累計	構成比
店舗 (Wacoal+B.tempt'd)			
店舗 (直営,アウトレット)			
百貨店EC			
専業EC			
自社EC			
輸出 (カナダ除)			

**ヨーロッパ**

・チャンネル別

	4月 単月	累計	構成比
百貨店			
専門店			
直営店			
他社ECサイト			

**中国**

・チャンネル別

	4月 単月	累計	構成比
百貨店			
他社EC			
その他			

・ブランド別

	4月 単月	累計	構成比
ワコール			
B.tempt'd			
CW-X			
LIVELY			

・地域別

	4月 単月	累計	構成比
UK			
ヨーロッパ			
北米			
その他			

・ブランド別

	4月 単月	累計	構成比
ワコール			
サルート			
アンフィ			
ラ・ロッセベル			
PJ			